

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2019-88654(P2019-88654A)

【公開日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2019-022

【出願番号】特願2017-221061(P2017-221061)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光可能な発光体と、

前記発光体を保護する保護手段と、

前記発光体が載置された電子回路基板と、を備え、

前記発光体は、所定位置に配置された第1発光体を含み、

前記電子回路基板は、前記第1発光体が載置された第1電子回路基板を含み、

前記保護手段は、前記第1発光体を保護する第1保護手段を含み、

前記第1保護手段に、前記第1電子回路基板を視認可能な視認部が形成され、

遊技機における遊技者に対向する面を正面としたときに当該遊技機を正面とは異なる角度から見た場合に、前記視認部から前記第1電子回路基板の側面が視認可能とされた遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明に係る遊技機は、発光可能な発光体と、前記発光体を保護する保護手段と、前記発光体が載置された電子回路基板と、を備え、前記発光体は、所定位置に配置された第1発光体を含み、前記電子回路基板は、前記第1発光体が載置された第1電子回路基板を含み、前記保護手段は、前記第1発光体を保護する第1保護手段を含み、前記第1保護手段に、前記第1電子回路基板を視認可能な視認部が形成され、遊技機における遊技者に対向する面を正面としたときに当該遊技機を正面とは異なる角度から見た場合に、前記視認部から前記第1電子回路基板の側面が視認可能とされたものである。

これにより、特定の発光体の不具合を発見しやすくメンテナンス性のよい遊技機を提供することができる。